

南箕輪村むらづくり委員会（第2回）会議次第

平成 29 年 6 月 5 日（月）

午後 7 時～ 役場講堂

1. 開 会

2. 会長あいさつ

3. 諮 問

4. 会長職務代理者の選出

会長職務代理者_____

5. 協議事項

① 平成 28 年度地方創生関連事業の検証について

② その他

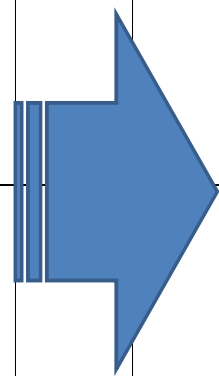
6. その他

7. 閉 会

This image shows a single sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins, text, or other markings on the paper.

今後のスケジュールについて

前回(5月10日)会議資料 5

年度	平成29年度				平成30年度				平成31年度				平成32年度		
月	4～6	7～9	10～12	1～3	4～6	7～9	10～12	1～3	4～6	7～9	10～12	1～3	4～6	7～9	10～12
地方創生関連 交付金の検証	 ・加速化交付金事業 ・平成28年度推進交付金事業				 ・平成28年度推進交付金事業 ・拠点整備交付金事業				 ・平成29年度推進交付金事業				任期終了 		
村創生総合戦略の検証、見直しの検討			 ・村創生総合戦略の検証 ・見直しの検討								・村創生総合戦略の検証 ・見直しの検討				
村第5次総合計画後期基本計画の策定に向けた検討							 第5次総合計画前期基本計画の検証								

1. 主な検討事項

- ・村創生総合戦略の検証及び見直し
- ・村創生総合戦略に基づき実施した事業の効果検証
(地方創生加速化交付金事業、地方創生推進交付金事業、地方創生拠点整備交付金事業)
- ・村第5次総合計画後期基本計画(計画期間：平成33年度～平成37年度)の検討

2. スケジュール予定

平成29年5月 第1回委員会

- ・委員委嘱
- ・村第5次総合計画、村創生総合戦略の概要説明

平成29年5月下旬から6月上旬

第2回委員会(予定)

- ・平成28年度地方創生加速化交付金事業、地方創生推進交付金事業の検証

平成29年度～

前年度に実施した交付金事業の効果検証

村創生総合戦略の検証、見直しの検討

→ 以降年度ごとに前年度事業の効果検証及び村創生総合戦略の検証、必要に応じて戦略の見直し

平成30年度～

村第5次総合計画後期基本計画の策定に向けた検討

平成32年5月

任期終了

1. 平成28年度地方創生関連事業の検証について

南箕輪村の創生総合戦略の基本的な考え方は以下のとおりです。

- (1) 将来の南箕輪村の人口が減少に転じる時期を遅延させる取り組み
- (2) 南箕輪村におけるまち・ひと・しごとの創生と好循環の確立

地方創生関連事業については、すべて村の創生総合戦略に基づいて実施しています。

平成28年度については、地方創生関連交付金を活用し「移住定住」・「南箕輪村の魅力開発とブランドづくり」・「子育て女性の支援」の取り組みを行いました。

各事業について指標及び実績値を示し、事業実施後の村の評価を4段階で表しています。

- ①地方創生に非常に効果的であった
- ②地方創生に効果があった
- ③地方創生に効果がなかった
- ④現時点では効果測定できず

南箕輪村の交付金の活用状況(平成28年度)

交付金	名称	事業概要	実績額	備考
地方創生 加速化 交付金 (補助率 10/10)	「信州・上伊那」の 地域力向上推進事業	・移住定住者向けサイト構築 ・移住定住推進パンフレット等作成 ・元気ビジネス応援隊運営負担金 ・キャリア教育推進コーディネーター配置	5,522,450円	広域連携事業
	中央アルプスジオパーク 構想を活用した 観光地域づくり連携事業	・経ヶ岳ガイドブック制作 ・経ヶ岳PRビデオ制作 ・登山道整備	3,437,200円	広域連携事業
	「ライトに農業を」 「地元回帰」層を ターゲットにした 人口定着事業 (2事業を実施)	①ニューアグリチャレンジプロジェクト ・都市部での農業塾の開催	15,596,000円	
		②若者回帰・定住増進支援事業 ・地元回帰就職セミナー開催 ・地元企業体験訪問実施	13,392,000円	
地方創生 推進交付 金 (補助率 1/2)	社会で活躍しながら子育て できるむらに！「子育て女 性再就職トータルサポート 事業」	・女性就業支援トータルアドバイザー設置 ・就職前の準備セミナー開催 ・就職前後のサポートプログラム実施	5,940,000円	

「信州・上伊那」の地域力向上推進事業

箕輪町・伊那市・駒ヶ根市・辰野町・
飯島町・南箕輪村・中川村・宮田村
平成28年3月～平成29年3月

事業の目的

上伊那の市町村が連携し、地域出身の県外在住の20代社会人を主たるターゲットに移住対策、地域企業との雇用のミスマッチの解消を図ることにより、若者の移住による地域経済の担い手の養成と、地域づくり人材の確保を目指す。

事業の概要及び実施内容

上伊那8市町村の連携により、以下の移住対策等を実施する。

- ①都会にない上伊那の暮らしやすさの情報発信。移住前の交流会等を開き受入準備
- ②企業への訪問・相談等から就職情報のほか技術力といった企業情報を集め、市町村間で情報共有
- ③情報発信はインターネット・説明会などのほか、地域に残る友人や親とも連携
- ④地域で育った子供たちが将来、地域に戻ることを目指して、キャリア教育を中高生に対して実施

○南箕輪村における事業

- ・移住定住促進サイト作成
- ・移住定住促進パンフレット作成
- ・移住定住促進プロモーションビデオ作成
- ・元気ビジネス応援隊運営事業負担金
企業のOB等が上伊那地域の企業を支援する「元気ビジネス応援隊」の設立・運営
- ・キャリア教育推進コーディネーター事業



(南箕輪村キャリア教育推進協議会)



(南箕輪で働く人を紹介)

村創生総合戦略

(1) 立地特性を生かした職住近接のむらづくり
施策③ 移住者や女性の就業支援

(2) 若者定住と郷土愛の醸成による帰って来たい
むらづくり

施策② 村内移住・定住・若者回帰の推進

数値目標	基準値 (H25)	KPI (H31)
就労情報へのアクセス数	—	200件/年
就労に必要な学習会の開催数	—	4回/年
女性のための研修制度開催数	—	2回/年
移住、定住情報へのアクセス数	—	400件/年
転入に伴う1戸建世帯の区への加入率	89%	90%

28年度の実施内容

- ・移住定住促進パンフレット作成



- ・移住定住促進サイト作成

<https://minamiminowa.net/>



- ・移住定住プロモーションビデオ作成

<https://minamiminowa.net/information/pv>



- ・キャリア教育推進コーディネーター賃金負担

【キャリア教育とは】

キャリア教育は、一人一人の社会的・職業的自立に向けて必要な能力等を育てる教育です。

キャリア教育が目指すもの

- ・一人一人のキャリア発達を支援します。
- ・学ぶことや働くこと、生きることの尊さを実感させ、学ぶ意欲を向上させます。
- ・将来の社会的・職業的自立の基盤となる資質・能力・態度を育てます。
- ・望ましい勤労観・職業観を育てます。

- ・元気ビジネス応援隊運営負担金

上伊那産業振興会への運営負担金

事業内容：上伊那の企業への支援

アドバイザー派遣、ホームページの充実、得意技シート作成 など

指標、実績値及び村の評価

本事業における重要業績評価指標（KPI）	H28	H29	H30	H31
移住・定住情報へのアクセス数	400件			400件
実績値	—			

④現時点では効果測定できず

サイトの開設が年度末であったため、現時点では実績値は出ていない。指標としての設定はないが、キャリア教育推進協議会が設立され、子どもたちへのキャリア教育の取り組みが始まっている。また、移住定住の取り組みも始まったばかりであり、ウェブサイトやPRビデオを有効活用し、村の魅力発信を図る。

中央アルプスジオパーク構想を活用した 観光地域づくり連携事業

駒ヶ根市・伊那市・飯島町・
南箕輪村・中川村・宮田村
平成28年3月～平成29年3月

事業の目的

中央アルプスという地域資源を最大限に有効活用するため、中央アルプスの知名度のアップを図り、外国人旅行者や女性登山者や中高年登山者などをターゲットとした交流人口の増加に繋げ、観光産業の底上げを図り、併せて、地域資源を活用した特産品などの開発により事業機会の創出、雇用の拡大を図り、地域の共通の課題を解決する。

事業の概要及び実施内容

関係6市町村、観光協会、観光事業者、大学、文化団体などで中央アルプスジオパーク推進協議会を立ち上げ、外国人旅行者や登山愛好者の地域への誘客を図るため、以下の事業に取り組む。

- ①中央アルプスのブランド力アップのための日本ジオパーク認定
- ②モデルツアーの造成と効果的な情報発信
- ③外国人旅行者や登山愛好者の利便性向上のための受入環境整備

○南箕輪村における事業

- ・経ヶ岳ガイドブック作成
経ヶ岳・権兵衛峠の登山用のガイドブックを作成。登山道沿いの各ポイントの説明、植物や地形・地質の解説や経ヶ岳の由来、権兵衛峠の歴史なども織り込む。
- ・経ヶ岳紹介ビデオ制作
日本二百名山である経ヶ岳及び権兵衛峠の四季折々を紹介したPRビデオを制作
- ・経ヶ岳登山道整備
経ヶ岳から黒沢山を経て箕輪町まで通行可能な登山道を確保と既存の登山道の整備・補修



(左：経ヶ岳、右：黒沢山)

村創生総合戦略

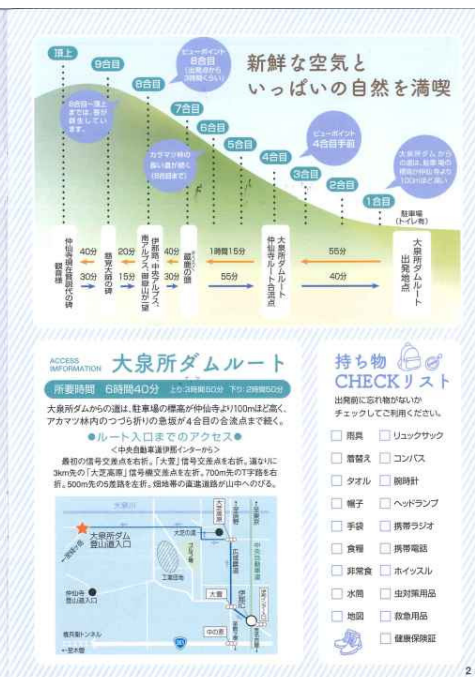
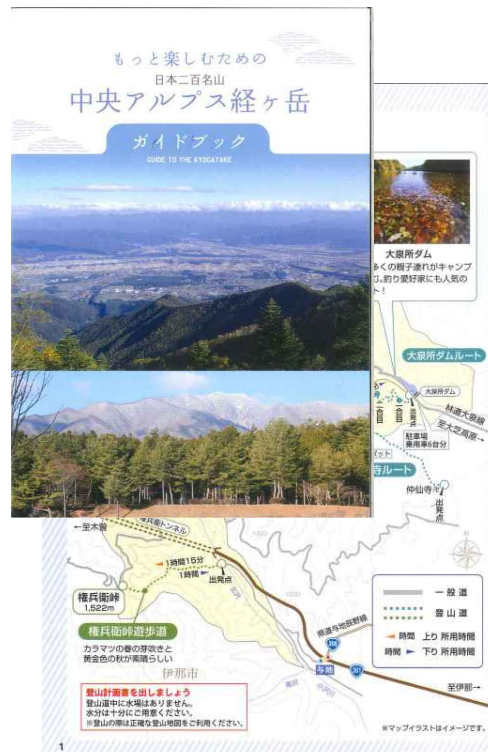
(2) 若者定住と郷土愛の醸成による帰って来たい
むらづくり

施策③ 南箕輪村の魅力開発とブランドづくり

数値目標	基準値 (H25)	KPI (H31)
観光PRイベント開催数	11回/年	15回/年
大芝高原の利用者数	616,435人/年	620,000人/年
経ヶ岳・権兵衛峠の登山者数	3,500人/年	6,000人/年
「ふるさと名物」商品化件数	—	2件以上

28年度の実施内容

・経ヶ岳ガイドブック作成



・経ヶ岳紹介ビデオ制作

YouTube に掲載しています。
「経ヶ岳紹介」と検索していただくと
ご覧いただけます。



・その他経ヶ岳登山道整備を実施

指標、実績値及び村の評価

本事業における重要業績評価指標 (KPI)	H28	H29	H30	H31
経ヶ岳・権兵衛峠の登山者数	4,000人			6,000人
実績値	4,200人			

②地方創生に効果があった

経ヶ岳バーティカルリミットなど新たなイベントの開催により、計画時より登山者は増えている。ガイドブックやビデオを有効に活用し、観光資源である経ヶ岳や権兵衛峠の利用者のさらなる増加を図る。

①ニューアグリチャレンジプロジェクト

(「ライトに農業を」「地元回帰」層をターゲットにした人口定着事業)

南箕輪村
平成28年9月～平成29年3月

事業の目的

移住定住施策により人口増加を図るにあたり、都市部の農業に関心がある層に向けて、農業を通じた働きかけを行うことにより、農業を通じた二地域居住や移住を増やし、移住定住のサイクルの確立を図る。

事業の概要及び実施内容

製造業の集積による雇用、村内にICがあり都市圏と直結するアクセスの良さ、都市と農村が程良いバランスである村の強みを生かし、都市圏の潜在的な移住希望者の内、農業に専業で移住することを希望する層ではなく、企業に勤め週末に農業を楽しむ生活がしたい、企業に勤務する生活は変えたくないが子どもは農村の豊かな環境で育てたい、都市と農村の良さ双方を享受したい「ライトに農業を」層の二地域居住や移住を狙う。

(情報発信)

- ・東京、名古屋での講習会と村での農業体験を組み合わせた農業塾を実施
- ・新聞広告と制作したPR映像を活用して、農業に関心がある層の募集
- ・農業塾を通じて、農業への関心を高め、農業を通じた二地域居住や移住先としての村の発信

(職のマッチング)

- ・農業塾参加者に、地元企業体験訪問など職の面でのフォロー

今後も二地域居住・移住先としての村の発信の継続、都市圏からの移住増加に向けた働きかけを継続的に実施

村創生総合戦略

(2) 若者定住と郷土愛の醸成による帰って来たい
むらづくり

施策② 村内移住・定住・若者回帰の推進

施策③ 南箕輪村の魅力開発とブランドづくり

数値目標	基準値 (H25)	KPI (H31)
移住、定住情報へのアクセス数	—	400件/年
転入に伴う1戸建世帯の区への加入率	89%	90%
観光PRイベント開催数	11回/年	15回/年
大芝高原の利用者数	616,435人/年	620,000人/年

28年度の実施内容

東京・名古屋－信州 南箕輪村をつなぐ

「ちょこっと農業塾」

ちょこっと農業塾とは…

都会から田舎へ移住し、農業をしながら生活するスタイルに注目が集まっています。村では、東京・名古屋と南箕輪村をつなぐ「ちょこっと農業塾」を開催。東京と名古屋で農業体験ができる勉強会と現地研修を実施。農業や食に興味がある方、田舎暮らしを体験したい方が集まり、全5回にわたる勉強会と1泊2日の村での現地研修を行いました。

東京会場及び名古屋会場での勉強会（延べ338人参加）

	日程	内容	講師	参加者
第1回	10/18・24	初歩から始める安心・安全の米づくり	まっくんファーム代表 他	81名
第2回	11/7・14	家族思いの減農薬・減化学肥料の野菜づくり	農ingやまだ屋代表 他	74名
...				
第5回	2/13・20	少量で多品目で楽しい直売所農家	産直新聞社代表 他	53名
追加	3/16・21	個別相談会		21名

村での研修（計105人参加）

	日程	内容	参加者
第1回	11/20～21、11/27～28	野沢菜収穫体験、振りまんど体験 他	54名
第2回	1/29～30、2/5～6	味噌作り体験、おやきづくり体験 他	51名



指標、実績値及び村の評価

本事業における重要業績評価指標 (KPI)	H28	H29	H30	H31
二地域居住・移住相談件数	20件			40件
実績値	21件			
事業を利用した実際に移住した移住者	2人			4人
実績値	0人			

②地方創生に効果があった

都市部からの参加者に非常に好評であり、想定以上の移住相談があった。29年度以降も農業塾を継続実施し、実際の移住につながる事業展開を図る。

②若者回帰・定住増進支援

(「ライトに農業を」「地元回帰」層をターゲットにした人口定着事業)

南箕輪村

平成28年9月～平成29年3月

事業の目的

移住定住施策により人口増加を図るにあたり、年少人口が16.1%と子どもの多い村であることを生かし、「地元回帰」志向の村出身都市圏学生が地元に戻って就職しやすくする環境を作ることにより、村出身の若者の村への定着を図る。

事業の概要及び実施内容

- ・年少人口が多く、「村総合戦略」村民アンケートにおいて、子どもを持つ親で「村内または近隣に帰ってきてほしい」割合は58.4%、小中学生及び高校生で「将来も南箕輪村に住み続けたい」割合は52.6%と地元志向は強いものの、就職時の回帰につながない。
- ・地元への就職が選択肢に挙がらないのは、主な進学先の東京・名古屋・大阪圏の学生は地元の企業の情報を手に入れづらい。

「地元に戻る選択肢」づくり

- ・地元の子どもの帰ってきてほしい親を経由して、村出身学生とのネットワークづくり、村から情報発信のルート確保
- ・こちらから都市圏に出向いての地元回帰就職セミナーを実施、地元企業を講師に迎えての生の情報の発信
- ・都市圏発の地元企業体験訪問バスツアー

- ・対象
上伊那出身の都市圏学生
(就職活動が始める大学2年生、3年生が中心)
- ・実施時期
就職セミナー H29.2
訪問バスツアー H29.3

村創生総合戦略

(1) 立地特性を生かした職住近接のむらづくり
施策③ 移住者や女性の就業支援

(2) 若者定住と郷土愛の醸成による帰って来たい
むらづくり

施策② 村内移住・定住・若者回帰の推進

数値目標	基準値 (H25)	KPI (H31)
就労情報へのアクセス数	—	200件/年
就労に必要な学習会の開催数	—	4回/年
女性のための研修制度開催数	—	2回/年
移住、定住情報へのアクセス数	—	400件/年

28年度の実施内容

「上伊那就活派。」のポスター。タイトルは「上伊那就活派。」で、サブタイトルは「さあ、始めよう。1歩先行く就活を」。ポスターには、地元企業との交流、企業研究、企業見学バスツアーなどの活動が紹介されている。また、参加企業の一覧も掲載されている。

「上伊那就活派。」のスケジュール表。28年度の実施内容がまとめられている。主要なイベントは以下の通り。

イベント	日時	場所	参加人数	企業参加数
保護者向けセミナー	1/22	いなっせ	34人	—
企業担当者との交流会及び企業研究	2/11	名古屋	23人	25社
	2/14	新宿	49人	34社
企業見学バスツアー	3/5・6	上伊那企業	延べ60人	18社

対象者・企業を村内に限定せず、上伊那全域が「地元」としてとらえ、他市町村、広域連合及び伊那職業安定協会と協力して事業を実施。



内容	日時	場所	参加人数	企業参加数
保護者向けセミナー	1/22	いなっせ	34人	—
企業担当者との交流会及び企業研究	2/11	名古屋	23人	25社
	2/14	新宿	49人	34社
企業見学バスツアー	3/5・6	上伊那企業	延べ60人	18社

指標、実績値及び村の評価

本事業における重要業績評価指標（KPI）	H28	H29	H30	H31
村外（県外）へ進学した若者の村内回帰人数	10人			20人
実績値	未			
就労情報へのアクセス数	50件			200件
実績値	4,942件			

②地方創生に効果があった

対象者はH30.4卒業見込みのため、回帰人数の実績値はないが、都市部学生への地元企業PRにつながった。村としても初の試みであり、上伊那挙げての取り組みの必要性を感じている。29年度以降も広域的に連携しながら事業を実施していく。

社会で活躍しながら子育てできるむらに！ ”子育て女性再就職トータルサポート”事業

南箕輪村
平成28年9月～平成31年3月

事業の目的

女性の就業に関するニーズの把握、相談やスキルアップ講座、また実際の企業とのマッチングなど総合的な支援を実施するための環境、子どもを育てながら様々な働き方ができる環境を整備し、「子育て」と「仕事」の両輪を回すことで「女性が活躍しながら子育てできるむらづくり」を推進し、地域の働き手の増加、出生者数の増加につなげる。

H28事業の概要及び実施内容

充実した子育て環境を活用した、子育てと就業支援を連動させた事業展開を図る。

<女性就業支援トータルアドバイザー設置>

- ・本格的な就業準備の前に、子育てと仕事のバランスなど全般的に相談できる「女性就業支援アドバイザー」を設置
- ・再就職にかかるニーズを個別に把握し、ニーズに合った就業形態を斡旋するなどケースごとにきめ細やかな支援を実施
- ・常駐相談室を設けるほか、「すくすくはうす」等子育て交流施設へ出張し随時相談に応じることのできる環境を整備

<就職前の準備セミナー開催>

- ・子育てや自分の生活スタイルに適合した働き方について考えてもらうためのセミナーを開催
- ・就業に関する法律や制度に関する勉強会を開催
- ・企業側の視点から必要な人材となるための実践セミナーを開催

<就職前後のサポートプログラム実施>

- ・マナーや履歴書・資料作成指導などサポートプログラムを実施
- ・育児期間のブランクや未経験職種への対策として、実際の企業ヘインターンシップ体験を実施
- ・実際に就業した女性に対し、就業後の様子をフォローするなど、アフターケアを実施

村創生総合戦略

- (1) 立地特性を生かした職住近接のむらづくり
(3) 安心して子どもを産み育てることのできるむらづくり
施策③ 移住者や女性の就業支援

数値目標	基準値 (H25)	KPI (H31)
就労情報へのアクセス数	—	200件/年
就労に必要な学習会の開催数	—	4回/年
女性のための研修制度開催数	—	2回/年

H29,H30年度の展開

アドバイザー設置、準備セミナー、サポートプログラムについては継続して実施

＜子育て支援との連動＞

- ・平成29年度から開館予定の「こども館」に常駐デスクを設け、子育てから就業までワンストップに相談できる環境を整備
- ・職業安定所の求人情報と連携できる専用端末を設置し、タイムリーな情報提供

＜サポート機会を増やす仕組みづくり＞

- ・こども館ポイントカードにより、子育て支援・就業支援どちらで来館してもポイントが貯まるようにし、必要に迫られてくる施設ではなく、気軽に来られる施設・行きたくなる施設とすることにより、サポートを受ける機会を増やす。
- ・就業相談のみならず、多様な相談ニーズに対してワンストップで対応するため、利用者ごとの相談内容を一括で管理し、相談対応者間で情報を共有することのできる相談データベースの整備

保育園に子どもを預けて働くという選択肢だけでなく、様々な働き方の選択肢づくり

＜内職マッチング＞

- ・家庭環境や保育園入園基準に満たないため預けられないなど、外で働くことができない層に向け、家庭で子どもを見ながら内職ができるよう「内職マッチング」を行う。
- ・企業の内職需要の掘り起こしや就業者と企業間の調整を行う。

＜ワーキングスペースの活用＞

- ・新たな雇用を生み出す働き方の提案及び創業支援のための子どもを連れて利用できるワーキングスペースの設置
- ・ワーキングスペースを利用した「集まって行う内職」の実施と企業の需要の掘り起こし
- ・ワーキングスペースを拠点に創業する女性へのサポート
- ・ワーキングスペース利用者向けの子どもの一時預かりの実施と小規模保育事業化への検討
- ・LAN環境、貸出用PC・プリンター、作業テーブル等の備品の整備

人口定着に向けた継続的な取組ができる体制づくり

- ・行政、地元企業、金融機関等、関係者を集めた人口定着協議会の設立

H28年度の実施内容

- ＜女性就業支援トータルサポートセンター設置＞（2名のアドバイザーが常駐）
- ＜就職前の準備セミナー開催＞ 2回
- ＜就職前後のサポートプログラム実施＞



	新規相談人数	延べ相談件数	就業人数
12月	5人	6件	0人
1月	17人	34件	1人
2月	17人	41件	2人
3月	11人	48件	10人
計	50人	129件	13人

指標、実績値及び村の評価

本事業における重要業績評価指標（KPI）	H28	H29	H30	H31
事業を通じた年間再就職者数	10人	30人	40人	
実績値	13人			
事業を通じた新規内職発注件数	0件	5件	10件	
実績値	0件			
事業を通じた新規創業件数	0件		2件	
実績値	0件			

①地方創生に非常に効果的であった。

目標を超える再就職者数となった。29年度も事業を継続する中で、子育て中の女性のニーズなどを把握し、事業展開を図る。

平成28年度 地方創生交付金活用事業 KPI検証(H29.6.5 むらづくり委員会)

事業名		村の事業評価	むらづくり委員会の評価	
			事業評価	その他意見
「信州・上伊那」の地域力向上推進事業		総合戦略のKPI達成に有効であった	①総合戦略のKPI達成に有効であった ②総合戦略のKPI達成に有効とは言えない	
中央アルプスジオパーク構想を活用した観光地域づくり連携事業		総合戦略のKPI達成に有効であった	①総合戦略のKPI達成に有効であった ②総合戦略のKPI達成に有効とは言えない	
「ライトに農業を」 「地元回帰」層を ターゲットにした 人口定着事業	ニューアグリ チャレンジ プロジェクト	総合戦略のKPI達成に有効であった	①総合戦略のKPI達成に有効であった ②総合戦略のKPI達成に有効とは言えない	
	若者回帰・定住 増進支援事業	総合戦略のKPI達成に有効であった	①総合戦略のKPI達成に有効であった ②総合戦略のKPI達成に有効とは言えない	
社会で活躍しながら子育てできるむらに！「子育て女性再就職トータルサポート事業」		総合戦略のKPI達成に有効であった	①総合戦略のKPI達成に有効であった ②総合戦略のKPI達成に有効とは言えない	

南箕輪村むらづくり委員会委員報酬について

委員報酬としてお支払いする額

区 分	時 間 額
会 長	1, 0 0 0 円
委 員	9 0 0 円

* 30分単位で計算します。

加算される車賃

久 保 往 復（ 6.4㎞） 2 4 0 円	神子柴原往復（ 9.0㎞） 3 4 0 円
中 込 往 復（ 4.6㎞） <u>1 8 0 円</u>	沢 尻 往 復（10.6㎞） 4 0 0 円
塩ノ井往復（ 4.2㎞） 1 6 0 円	南 原 往 復（12.6㎞） 4 7 0 円
北 殿 往 復（ 1.4㎞） 6 0 円	大 芝 往 復（ 5.8㎞） 2 2 0 円
南 殿 往 復（ 0.7㎞） 3 0 円	大 泉 往 復（ 4.2㎞） 1 6 0 円
田 畑 往 復（ 2.8㎞） 1 1 0 円	北 原 往 復（ 7.2㎞） 2 7 0 円
神子柴往復（ 3.8㎞） <u>1 5 0 円</u>	

・ 計算基礎は各区公民館・コミュニティセンター等からの距離

*お支払いは、従来、口座振込みとさせていただきます。

*別紙の「賃金・手当等振込依頼書」を次回会議に提出してください。

なお、既に別の村の委員会等で提出済の方は「個人番号」の記入は不要です。